

多職種ネットワーク活用事例

当コンテンツは群馬県医師会からの委託により当研究会が作成しました。

一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会

常務理事 小倉佳浩

2022年3月

多職種ネットワークを活用した地域包括ケア、災害時対応、
ACPなどの事例をご紹介します。



学会、セミナーでの事例紹介実績例

- ・単独セミナーの実施(2016年11月26日など)
(全国自治体、医師会から200名参加)
- ・学会セミナー実施(第1回日本在宅医療連合学会大会2019年7月14日)
在宅医療連合学会ランチョンセミナー
(600名満員御礼)



第29回 The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Home Care Medicine
日本在宅医療学会学術集会

ランチョンセミナー3

日時 2018年11月3日(土) 12:40~13:40
会場 第3会場 / F205 ~ F206

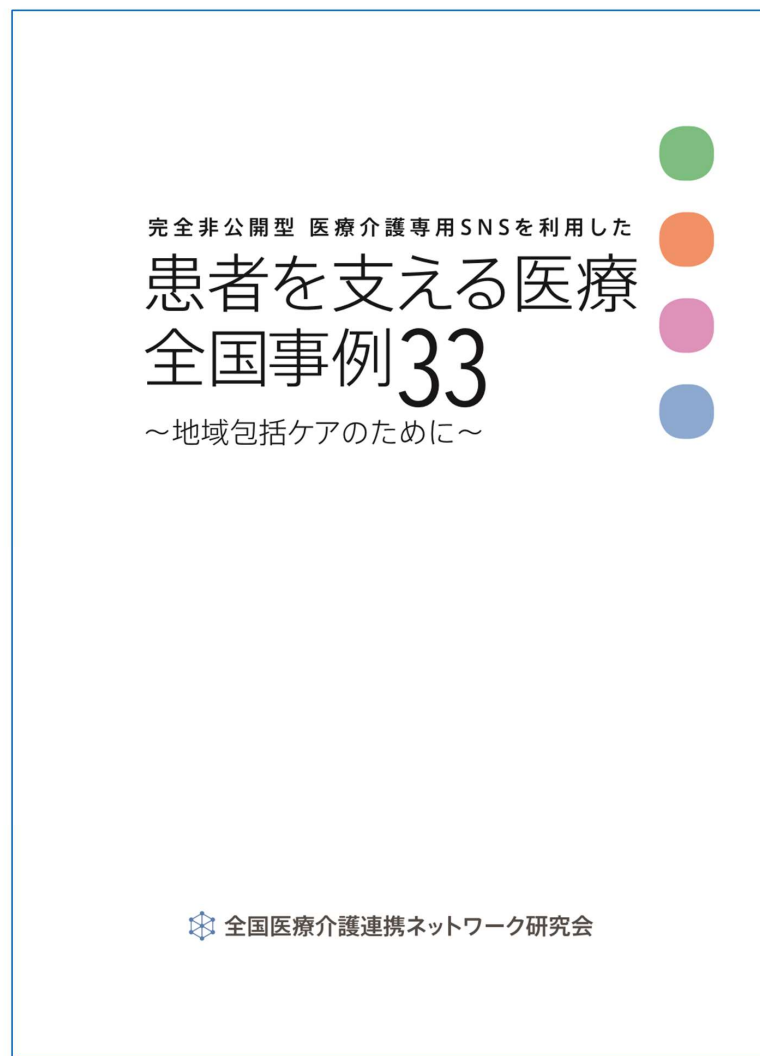
司会 山下 巖 先生 医療法人社団法人 山下診療所
全国医療介護連携ネットワーク副会長理事

『食べたい』を支える地域の
プロフェSSIONALたち
~HPNから経口摂取移行への取り組み~

演者 高田 靖 先生 公益社団法人
東京都港区医師会 副会長
演者 部坂 弘彦 先生 東京都港区医師会 院長
江島病院 院長
演者 村崎 佳代子 先生 医療法人社団法人
本町訪問看護ステーション 訪問看護師
演者 鹿志村 昇平 先生 一般社団法人
葵の空訪問看護ステーション 訪問看護師
演者 会沢 咲子 先生 豊島区口腔保健センター
あぜりあ歯科診療所 主任歯科衛生士
演者 江村 公良 先生 北池薬局 薬剤師
演者 鈴木 孝幸 先生 東池袋町1丁目介護支援センター
介護支援専門員
演者 栗原 俊介 先生 共済未来メディカルケア株式会社
福祉用具専門相談員



地域包括ケアのための先進事例集(226ページ、8,000部)発行





事例集に掲載された事例テーマ

患者を支える医療 全国事例33

Contents

「ICTを活用した地域包括ケアシステム構築に向けて」……4
全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事長 土屋淳郎
全国医療介護連携ネットワーク研究会について ……6

第1章：患者・患者家族と繋がる

ICTで患者と繋がりQOLを支える多職種連携 ……10
福岡県・北九州市 土倉内科循環器クリニック 土倉潤一郎(医師)
埼玉北部起点の医療連携が群馬まで広がるパーチャルホスピタルに ……18
埼玉県・本庄市 本庄市児玉郡医師会 大沢由美子(看護師)
患者・家族とも積極的に繋がる「ナカノ理論」の現場 ……23
鹿児島県・鹿児島市 ナカノ在宅医療クリニック 中野一司(医師)
入院患者の家族に安心を届ける病院の取り組み ……30
神奈川県・藤沢市 湘南慶育病院 若木美佐(医師)
医療から福祉までカバーする地域連携で認知症患者を支援 ……35
岐阜県・関市 平岡医院 平岡哲也(医師)
入院でも在宅でもない外来という患者の選択をチームでフォロー ……41
栃木県・真岡市 真岡メディカルクリニック 鈴木政夫(医師)
96歳の腎不全・心不全患者が在宅で趣味を楽しむように ……46
山梨県・上野原市 上條初枝さん(患者)
遠方の家族と繋がり独居の93歳男性を支える多職種連携 ……52
大阪府・豊中市 光本 隆さん(患者)
在宅緩和ケアの患者・家族と繋がり、安心を届け、看取り率向上へ ……57
栃木県・真岡市 真岡西部クリニック 趙達来(医師)

第2章：在宅医療のチームが繋がる

HPNから経口摂取への移行を可能にした多職種連携「チームM」 ……66
東京都・豊島区 本町訪問看護ステーション 村崎佳代子(看護師)
東日本大震災前からICTを駆使、思いも共有し診療所から地域力を育てる ……73
神奈川県・横浜市 睦町クリニック 朝比奈 完(医師)
ICTで外来診察と訪問診療を両立、サ高住との情報連携にも活用 ……81
香川県・高松市 綾田医院 綾田潔(医師)
“心の通った在宅医療”で大分市全体をホスピスに ……87
大分県・大分市 やまおか在宅クリニック 山岡憲夫(医師)
複数システムを組み合わせて効率化を徹底、患者との対話時間を増やす ……94
愛知県・名古屋市中 みどり訪問クリニック 姜 瑛鎭(医師)
在宅医療における薬局の役割とは？多職種連携と薬剤処方 ……99
東京都・多摩市 徳永薬局 小林輝信(薬剤師)
脱会ゼロ、垣根なき多職種連携で行動変容をもたらす ……104
熊本県・熊本市 ひまわり在宅クリニック 後藤慶次(医師)

在宅患者500人に安心、医師の負担軽減、両立への取り組み ……110
神奈川県・鎌倉市 ドクターゴン鎌倉診療所 久島和洋(医師)
「重病の方でも利用可能なデイサービスでありたい」 ……117
山梨県・上野原市 山梨コアラ 小俣 圭(デイサービス施設 管理者)
若手院長と多様なメンバーによる居宅中心の在宅チーム医療 ……121
京都府・京都市 よしき往診クリニック 守上佳樹(医師)

第3章：病院と診療所が繋がる

“言葉の見える多職種連携”で患者の家族とも繋がるACPを実践 ……130
大阪府・大阪市 大阪市立総合医療センター 大濱江美子(看護師)
ICT多職種連携が腹膜透析をよりユビキタスな医療へ ……136
鹿児島県・始良市 加治木温泉病院 松本秀一朗(医師)
地区医師会が進める病院を巻き込んだ“患者との距離が近い”医療介護連携 ……143
島根県・益田市 松本医院 松本祐二(医師)
多法人・多職種連携力で高齢糖尿病患者の入院“ゼロ”へ ……150
秋田県・由利本荘市 JA秋田厚生連由利組合総合病院 谷合久憲(医師)
小児科医による小児在宅医療と多職種・専門医連携 ……159
群馬県・前橋市 いまいずみ小児科 今泉友一(医師)
「視覚型」の情報共有で病院内外の多職種連携をスムーズに ……164
千葉県・福川市 亀田総合病院 大川 薫(医師)
ICT活用で変わる「退院カンファレンス」と「退院後フォロー」 ……168
群馬県・館林市 館林記念病院 世島山恵美子(看護師)
執刀医、幼稚園長、介護ヘルパー…人の繋がりで地域医療と向き合う ……173
東京都・豊島区 山下診療所大塚 山下 巖(医師)

第4章：医師会・行政が繋がる

災害時に地域を支えた400名超の多職種ネットワーク「虹ねっとcom」 ……180
大阪府・豊中市 つじクリニック 辻敷嗣(医師)
行政スタッフもICTに参加した認知症初期集中支援チーム作り ……186
山梨県・上野原市 上條内科クリニック 上條武雄(医師)
地域での顔の見える関係・繋がりをICTと「つるカフェ」の両輪で盤石に ……191
栃木県・下野市 つるかめ診療所 鶴岡優子(医師)
鹿児島県内6地区医師会と連携する在宅多職種チーム作り ……198
鹿児島県・いちき串木野市 訪問看護ステーションさくら 畑中勇二(看護師)
1人の患者登録から行政区を超えた地域ネットワークの広がりへ ……205
東京都・豊島区 土屋医院 土屋淳郎(医師)
県内だけでなく県外まで繋がる 栃木県医師会の多職種連携の取り組み ……213
栃木県・下都賀郡壬生町 長島整形外科 長島公之(医師)
寄稿「MCS誕生秘話」 ……220
エンブレス株式会社 社外取締役・医療コーディネーター 嵯峨崎泰子
あとがき「医療介護専用のSNSが目指すもの」 ……222
エンブレス株式会社 取締役副社長兼COO 小倉佳浩



コロナ禍でのICT活用のキーワード

非接触

非同期

- ・オンライン診療
- ・電話(緊急時,診療)

リアルタイムのやり取り

連携

- ・コミュニケーションチャット
- ・電話自動応答システム
- ・WEB問診システム

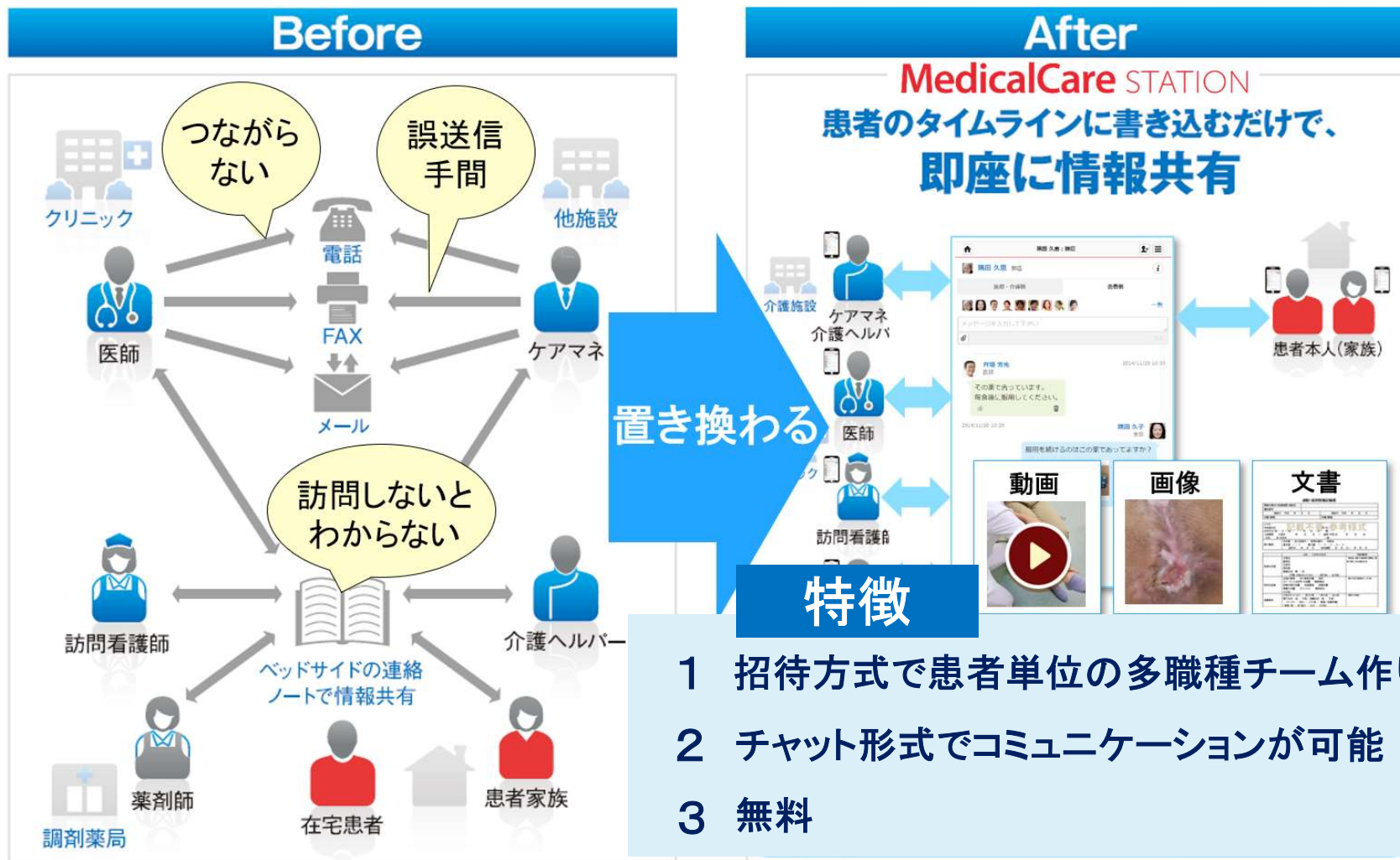
- ・患者は, いつでも書き込み
- ・医療者は, 空いた時間に利用
- ・画像も共有



「メディカルケアステーション(MCS)」とは

MedicalCare STATION

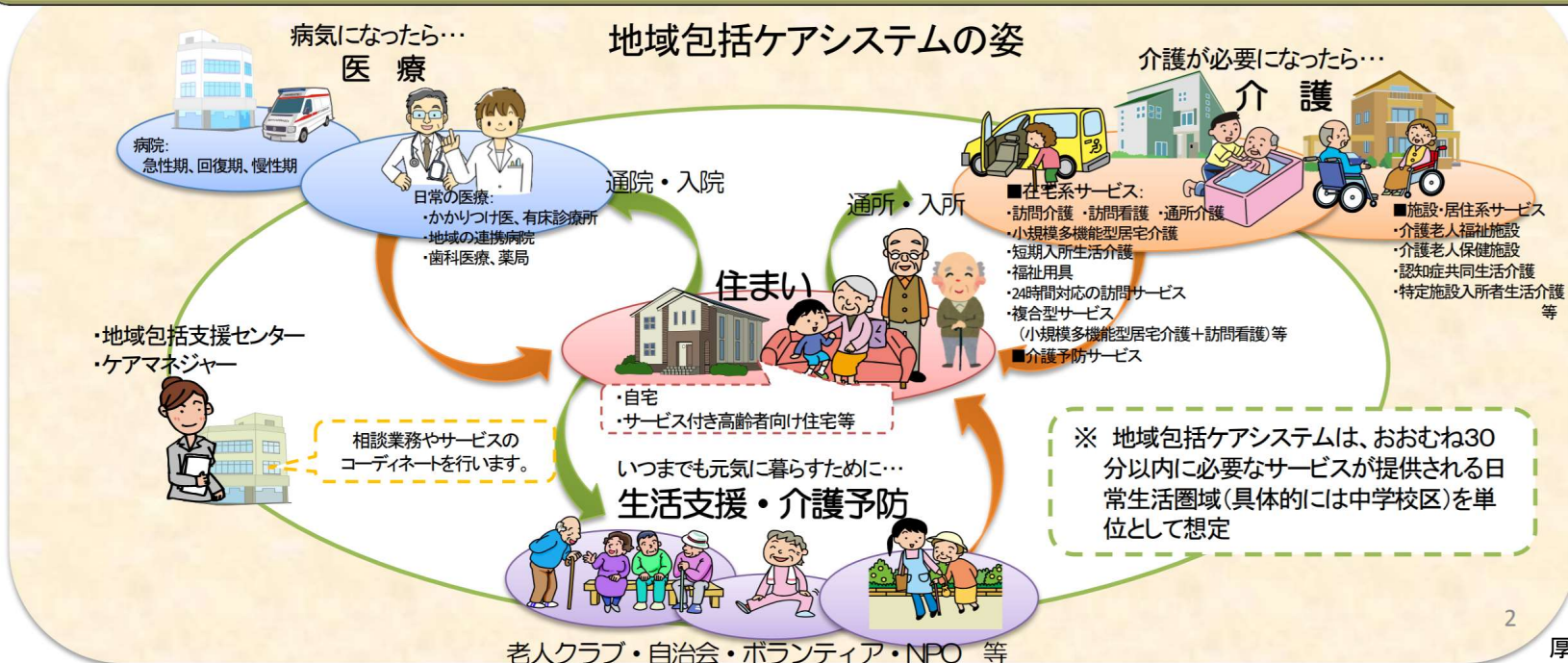
多職種ネットワークのための医療介護専用SNS





厚生労働省 地域包括ケアシステムの姿

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**





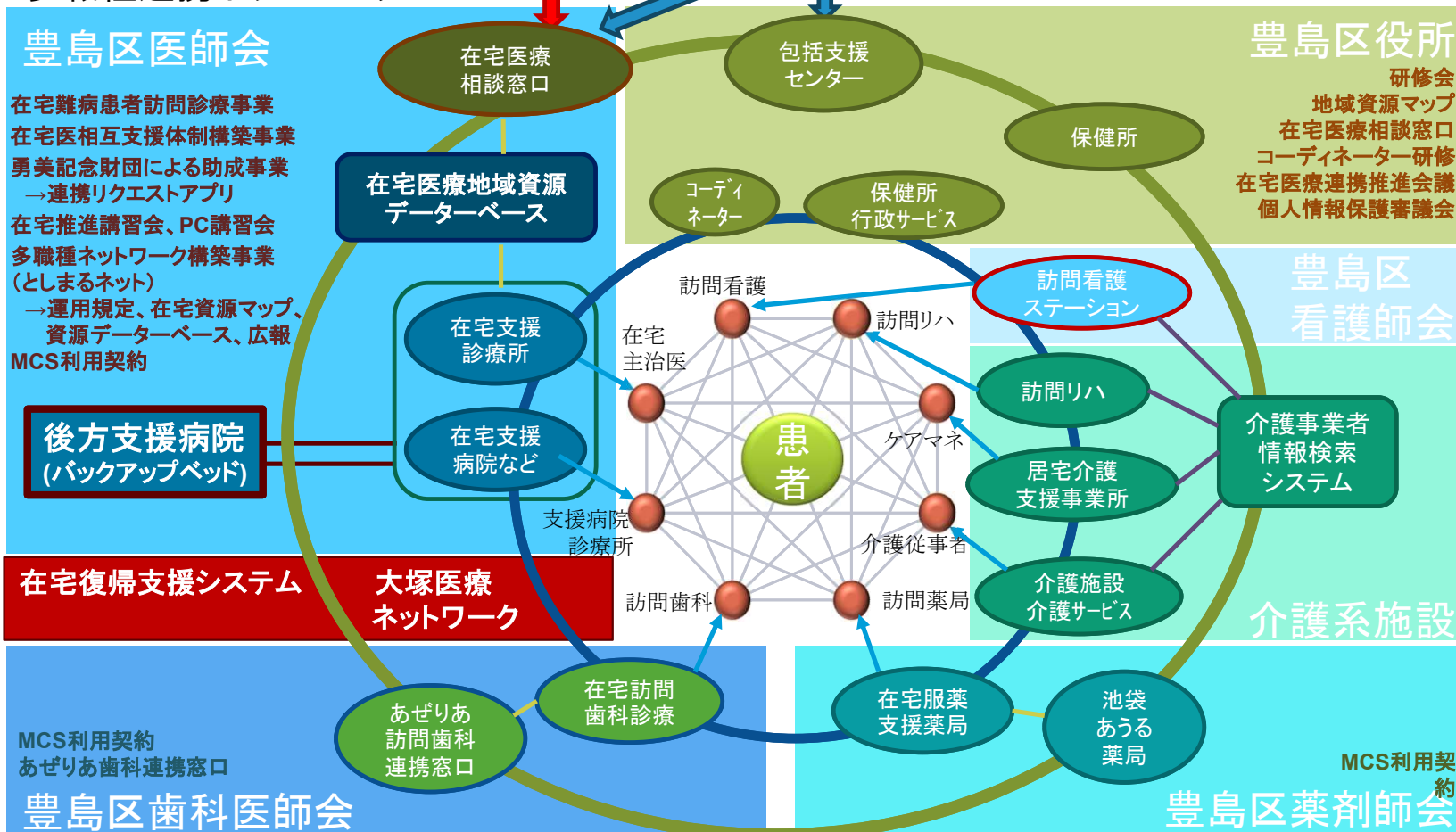
東京都豊島区の地域包括ケアシステム

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
- ・多職種連携ネットワーク

大学病院
都立病院

患者・家族
一般区民

- ・在宅患者を取り巻く環境作り
- ・顔の見える連携で基盤整備
- ・ICTを活用した連携の輪

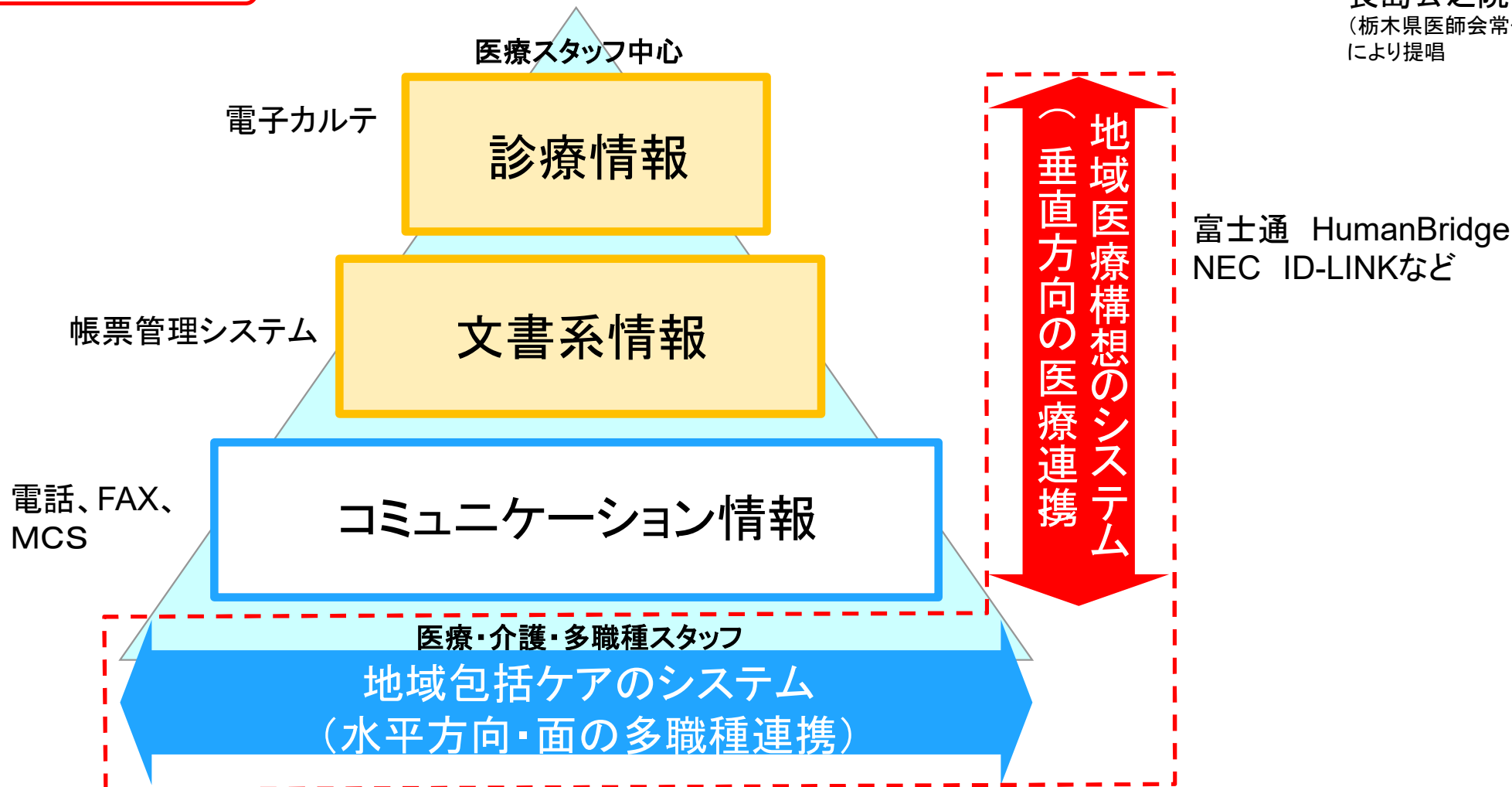




地域包括ケアのためのシステム構成

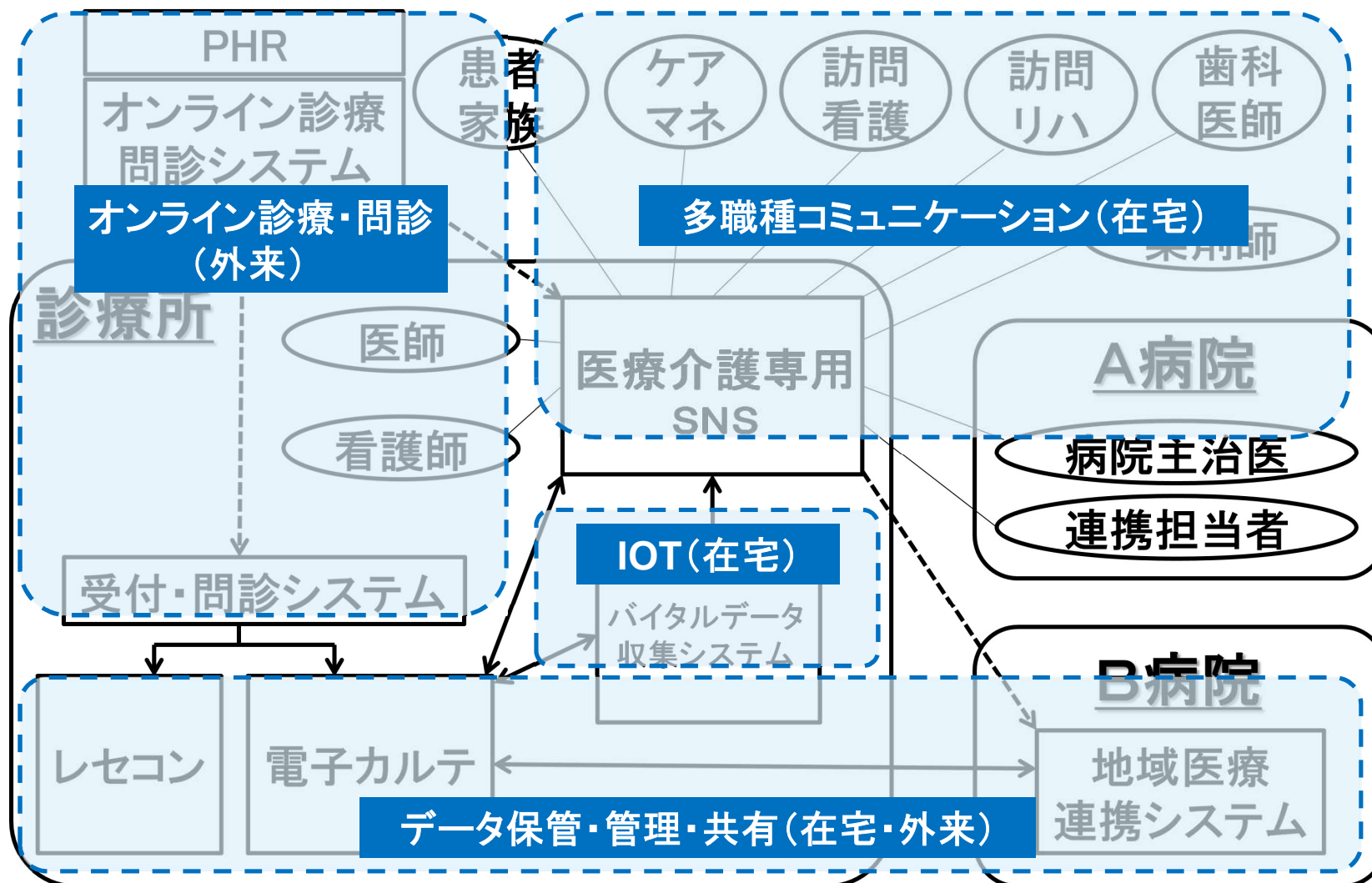
長島公之モデル

長島整形外科
長島公之院長
(栃木県医師会常任理事)
により提唱





例) 豊島区 土屋医院のシステム構成図





地域包括ケア 連携パターン1

疾患、患者のステージごとの最適化チームによる連携

例)

- 褥瘡ケア： 多職種チーム + 病院のWOCナースが支援
- 緩和ケア： 多職種チーム + 薬剤師による残薬管理とペインコントロール
- 摂食嚥下： 多職種チーム + 歯科医師、歯科衛生士等



青森県野辺地町 独居患者の連携事例

実際のタイムライン

患者 TK (公立野辺地病院)

通所介護 介護福祉士 2/16 17:10
動画を撮りながら御意見を聞いてみましたが、照れくさくなってきちんとした返答は聞けませんでしたが、でもとても満足されていて「糖尿病の事も配慮したおかず作ってもらってと思うけどどうですか？」の問いに『味付けもいいよ！』と、話していました。

2/16 14:08
包括 保健師
ケアマネ様 様、 様にお願ひです。
1月からヘルパーの利用回数か1回から2回へ変更になりましたね。
調理援助を取り入れ、糖尿病の状態安定を図ることを狙いとしての回数増でしたが、どのような状況でしょうか。本人の反応でもないので、お知らせ願ひます。

2/16 12:25
通所介護 介護福祉士
今日はデイサービスを明日お休みの代わりに、利用しています。入浴後、病院からもらった薬効くよ〜と話され嬉々していました。また本人からの告白で今朝食後に夜の薬を服用してきてしまったと。
看護師の判断で朝のお薬を昼食後に服用しています。太ももの写真添付します！

2/15 17:10
訪問介護 介護福祉士
昨日の訪問時に御本人より、セミや虫が噛いたように耳鳴りがして15日の午後に耳鼻科受診し検査すると話されていました。結果はまた後になると思うとのことでした。

患者が薬が効いたと言っている太もも

処方された薬

MCSによる連携効果

患者の顔、変化が見える

多職種スタッフ全員で
患者を時系列に把握できる

医療介護の垣根がなくなり、
意識が変わった、
モチベーションがあがった



多職種連携によるQOL改善事例

HPNから経口摂取への移行を可能にした 多職種連携『チームM』

東京都・豊島区 としま医療介護連携ネットワーク研究会



看護師

村崎 佳代子

池袋・本町訪問看護ステーション 訪問看護師

東京都豊島区の本町訪問看護ステーションの看護師として「としま医介連研究会」に参加し、在宅医療の質の向上のために、積極的に活動している。訪問先で関わった患者の「食べたい」という意思になんとか応えたいという気持ちから、としま医介連の多職種メンバーに声をかけ、グループ『チームM』を結成。目標達成のための具体的な方法を提案するなど、中心人物としてチームをリード。この経験を生かし、在宅医療の様々な現場で活躍中。

脳梗塞後遺症、嚥下性肺炎、嚥下障害
(70代男性)

ステップ1. チームを作る

主治医・訪問看護師・薬剤師・ケアマネ +
歯科医師・歯科衛生士・福祉用具専門相談員・言語聴覚士
管理栄養士による多職種連携チーム結成

ステップ2. チームMのゴールを設定し共有する

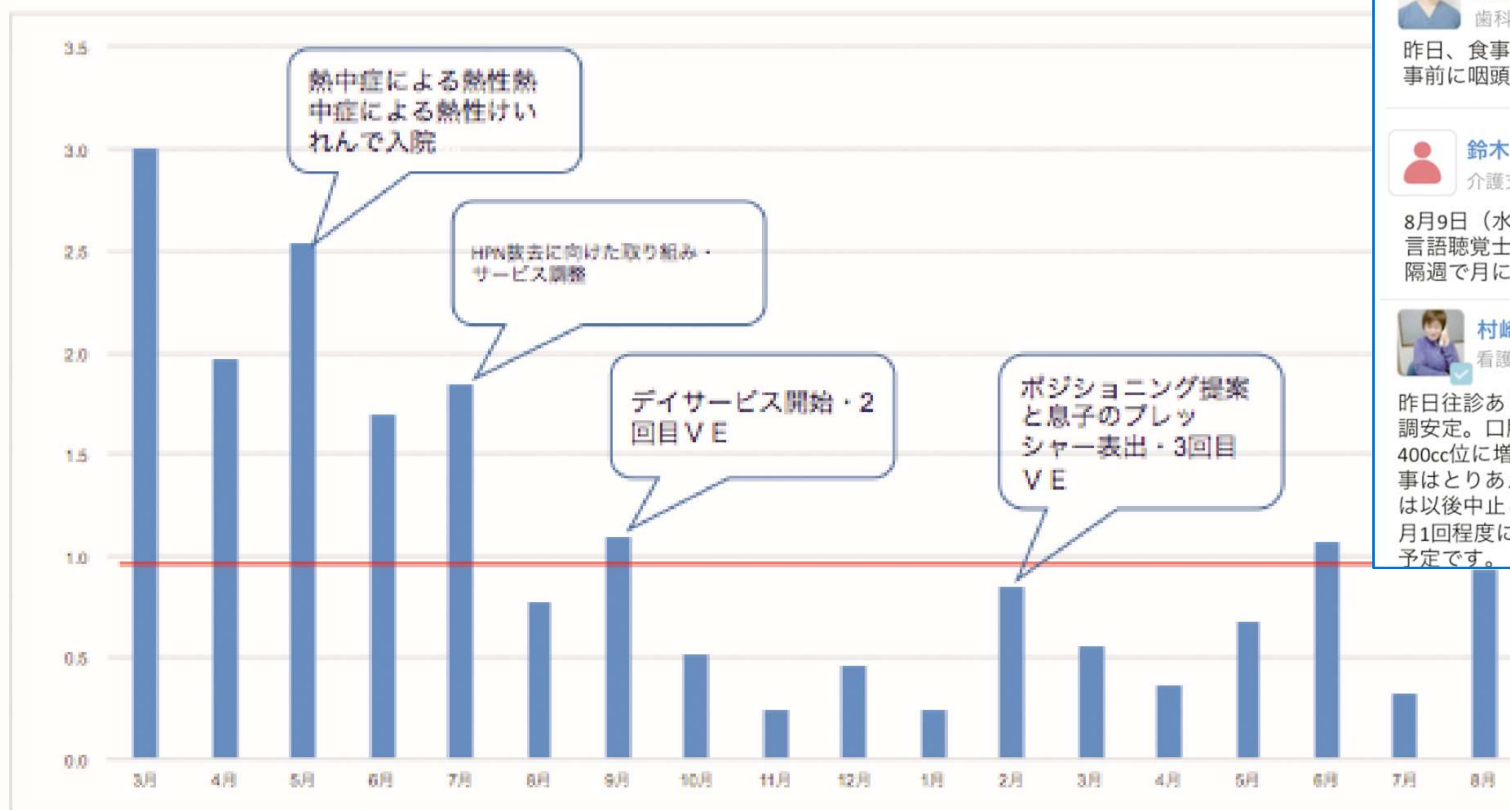
- ・嚥下訓練により嚥下機能を向上させる
- ・嚥下の様子と食事形態を確認しながら、安全に食事をステップアップ
- ・摂取カロリーが増し栄養状態が改善したら、HPNを抜く
- ・HPNが抜けたら、以前のようにデイサービスやショートステイを利用する
- ・介護負担を軽減し、患者の生活の幅を広げ、豊かな在宅療養につなげる

ステップ3. ICTを活用し動画なども情報共有



多職種連携によるQOL改善事例

MCS書き込み平均回数月次変化



実際が多職種のやり取り



村上 正治

歯科医師

20

昨日、食事観察を行いました。訪問時、湿性嘔声・ムセ込みあり食事前に咽頭部を吸引してから食事を開始しました。



鈴木 孝幸

介護支援専門員・ケアマネジャー ()

20

8月9日(水)より
言語聴覚士 鹿志村さんの訪問リハビリが開始になります。
隔週で月に二回の予定です。よろしくお願いいたします。



村崎 佳代子

看護師 ()

20

昨日往診あり、IVH抜去。本日訪問し圧迫固定外しフリーとする。体調安定。口腔内ウェット。毎食時の水分が300cc~350ccのため、400cc位に増やしていただくよう依頼(半分はボカリ等でも可)。食事はとりあえず今のままの量で継続予定。IVH管理のための訪問看護は以後中止となります。ご家族の希望もあり、緊急時の対応を含め月1回程度になるかと思えます。今後デイサービスへ移行していく予定です。

▲チームMのMCSへの書き込み状況(10名の1日平均)。退院から1年以上にわたって活動が続いているチームMだが、患者の容体が安定しているときは書き込む回数や量が減ることがわかる。1人当たりの書き込み数は月に0件~数件と効率的だ



A1c改善の事例

多法人・多職種連携力で糖尿病患者の入院“ゼロ”へ

秋田県・由利本荘市 JA秋田厚生連由利組合総合病院



医師

谷合久憲

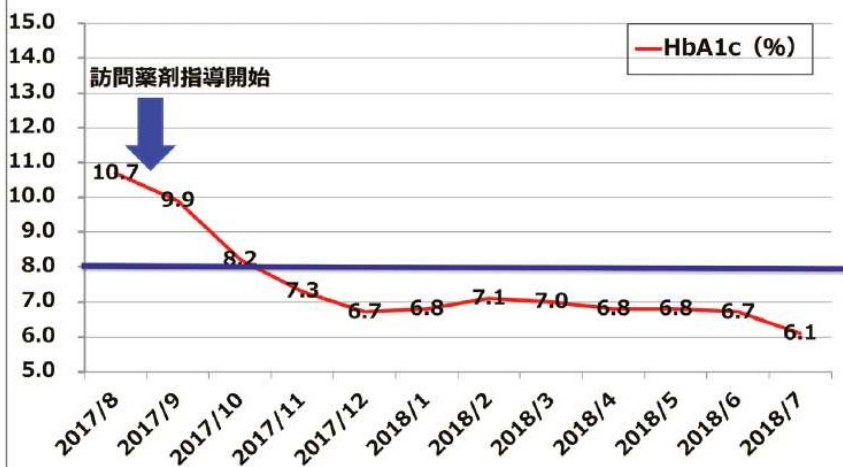
JA秋田厚生連由利組合総合病院 糖尿病代謝内科

東京都出身。社会人経験の後に医師の道に進む。後期研修での岩手県立高田病院赴任をきっかけに地域医療・在宅医療に開眼し秋田県由利本荘市の本荘第一病院に勤務。2015年より現職につき、外来だけでなく在宅診療にも携わる。現在「NPO法人由利本荘にかほ市民の健康を守る会」のメンバーとして摂食嚥下ケアの講習会から地域おこしイベントの運営まで幅広く手がけ、由利本荘市内の多職種連携の会の中心人物としても活動する。

【ポイント】

- ・患者・家族の塩分や低血糖に対する認識が向上
- ・塩分・食事回数・インスリン保管ともに改善
- ・医師が薬剤の変更理由などをMCSに記載し共有

HbA1c (%) (2017年8月～2018年7月)



◀内科と糖尿病代謝内科における2017年度の入院状況(由利組合総合病院HPより)

実際が多職種のやり取り

谷合 久憲
医師 (由利組合総合病院糖尿病代謝内科)

スイーツ豆腐は糖質が豊富なのでまずは卵焼きからいかがですか？
4人

管理栄養士 (池田薬局 中央店)

夕食後の低血糖予防ですが、卵焼きや市販のスイーツ豆腐はいかがでしょうか。

	kcal	Pro	Fat	CH
牛乳100cc	67	3.3g	3.8g	4.8g
スイーツ豆腐100g	108	4.9g	5.5g	9.7g
卵焼き2~3切	83	6.4g	5.3g	1.5g

♪なっアおり、牛乳よりたんぱく質が豊富で強壮化できます。

佐藤 芳
看護師 他 (みんなのまち岩城)

自宅に帰ると楽な方に流されてしまいますね。箸なら平皿で大丈夫なのでうまく促して頂ければと思います。
3人

堀尾 朗子
看護師 (「わかば」訪問看護ステーション)

箸とリードスプーン両方でした。
後半は、ほとんどリードスプーンでした。



減薬の事例

多法人・多職種連携力で糖尿病患者の入院“ゼロ”へ

秋田県・由利本荘市 JA秋田厚生連由利組合総合病院



医師

谷合久憲

JA秋田厚生連由利組合総合病院 糖尿病代謝内科

東京都出身。社会人経験の後に医師の道に進む。後期研修での岩手県立高田病院赴任をきっかけに地域医療・在宅医療に開眼し秋田県由利本荘市の本荘第一病院に勤務。2015年より現職につき、外来だけでなく在宅診療にも携わる。現在「NPO法人由利本荘にかほ市民の健康を守る会」のメンバーとして摂食嚥下ケアの講習会から地域おこしイベントの運営まで幅広く手がけ、由利本荘市内の多職種連携の会の中心人物としても活動する。

【ポイント】

- ・減薬のプランを薬剤師が医師にMCS内で提案
- ・減薬後の4週間、1週間ごとに薬剤師が患者の様子をチェックしてMCSにアップし共有、それを医師が確認するというステップを重ねて徐々に薬を減らしていく。

〈内服〉21剤 47錠 服用回数は6回(毎食直前と毎食後)

近医消化器科より	近医循環器科より
エクメットHD 2T朝夕食後	ニューロタン(50)1T朝食後
ファスティック(90)3T分3毎食後	ワ-ファリン(1)2T朝食後
ベ-インOD(0.3)3T毎食直前	ジゴキシン(0.125)1T朝食後
プロブレス(4)1T朝食後	アルダクソンA(25)1T朝食後
アムロジウム(5)1T朝食後	ホナリント-ブ(2)1枚/日
メロドン(5)1T朝食後	ムコダイン(500)3T毎食後
ウルソ(100)3T毎食後	近医整形外科より
パリエット(10)1T朝食後	アルファロール(0.5)4T朝夕食後
パランス(5)4T朝夕食後	アスぱーCA(200)4T朝夕食後
	ペオン(80)3T毎食後
	ピタマジン(25)3C毎食後
	マースレンS 1.5g毎食後 モーラステ-ブL(40)2枚/日

▲減薬したケースの例。谷合氏と薬剤師との連携により、最終的に青字の薬剤を中止した。

実際が多職種のやり取り

谷合 久憲
医師 (由利組合総合病院糖尿病代謝内科)

スイーツ豆腐は糖質が豊富なのでまずは卵焼きからいかがですか？
4人

管理栄養士 (池田薬局 中央店)

夕食後の低血糖予防ですが、卵焼きや市販のスイーツ豆腐はいかがでしょうか。

	kcal	Pro	Fat	CH
牛乳100cc	67	3.3g	3.8g	4.8g
スイーツ豆腐100g	108	4.9g	5.5g	9.7g
卵焼き2~3切	83	6.4g	5.3g	1.5g

となっており、牛乳よりたんぱく質が強化されます。
5/31 14:04

佐藤 芳
看護師 他 (みんなのまち岩城)

自宅に帰ると楽な方に流されてしまいますね。著なら平皿で大丈夫なのでうまく促して頂ければと思います。
3人

堀尾 朗子
看護師 (「わかば」訪問看護ステーション)

著とリードスプーン両方でした。
後半は、ほとんどリードスプーンでした。



地域包括ケア 連携パターン2

患者の施設移動に伴う連携

例)

- 入院連携（在宅から入院へ）
- 退院連携（病院から在宅へ、病院から施設へ）
- 転院連携（急性期病院からリハビリ病院へ）



病院によるACP事例

“言葉の見える多職種連携”で 患者の家族とも繋がるACPを実践

大阪府・大阪市都島区 大阪市立総合医療センター

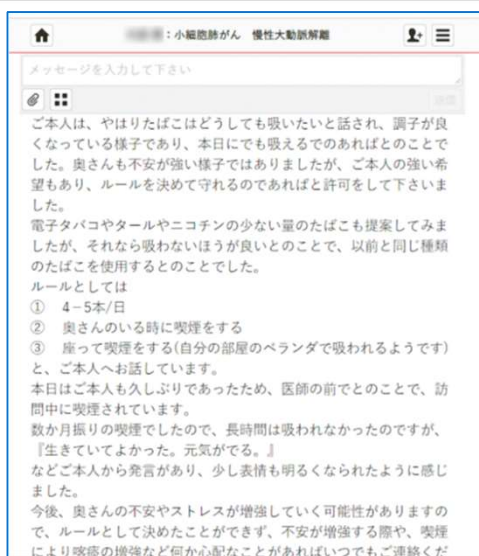


精神保健福祉士／社会福祉士 医療ソーシャルワーカー

大瀨 江美子

大阪市立総合医療センター

医療ソーシャルワーカーとして院内・院外多くのスタッフや関係機関との連携に取り組む。多職種との効率的なコミュニケーション方法を模索していた時に出会ったのがMCS。患者の診療情報をスタッフ全員に共有したいというニーズにも応えられると感じ導入する。「患者が不安なく退院するためには多職種の切れ目ない連携が必要。また、“言葉の見える関係”がとても大事」と繋がることの大切さを語る。



多職種で
共有

タバコを吸うことが唯一の楽しみであった、肺がんの患者

肺ガン患者本人の希望：

- ・「どうしても家に帰りたい」
- ・「たばこを吸いたい」

妻の希望：

- ・「タバコを吸うなら私はあなたを介護しません」

心疾患を合併した肺がん患者の退院後フォローでの
「3つのルール」を決め、10名の多職種に引き継ぎ

- ①本数は1日に4～5本まで
- ②喫煙は奥さんの目の前で
- ③喫煙時は椅子に座る
(血圧が急激に低下した場合に危険であるため)。

自宅で患者家族のやりとりや雰囲気、訪問時に垣間見た生活や歴史、家族関係などをチームで共有しフォロー。



地域包括ケア 連携パターン3

地域全体での連携

例)

- 認知症見守り
- 独居見守り
- 災害時対応



豊中市医師会の災害時対応事例

災害時に地域を支えた400名超の 多職種ネットワーク「虹ねっとcom」

大阪府・豊中市 つじクリニック／豊中市医師会



医師

辻 毅嗣(つじ・つよし)

つじクリニック 院長

豊中市では医師会を中心として2018年4月より、多職種連携や患者家族とのコミュニケーションの充実を図るべくMCSを段階的に導入。「虹ねっとcom」として運用している。つじクリニックでも在宅治療チームでMCSを活用し、「自宅に戻りたい」と希望する患者のニーズに応えている。今後は他行政区との連携を深め、登録者を増やすことで、地域包括ケアにおける要のような存在になることを目指している。豊中市医師会理事。

大阪北部地震(2018年6月18日)

台風21号の大阪直撃(2018年9月4日)

ステップ1. 地域の多職種全員が入る
グループを作成
(豊中市の多職種469名が参加)

ステップ2. 災害時に近況を書き込み

- ・安否確認
- ・災害状況
 - ・停電
 - ・氾濫
 - ・交通状態・・・



豊中市医師会の災害時対応事例

大阪北部地震(2018年6月18日)

- 
辻 毅嗣 6/18 08:04
 医師 (医療法人 正幸会 つじクリニック)
 Me the song
- 
辻 毅嗣 6/18 08:05
 医師 (医療法人 正幸会 つじクリニック)
 みなさん大丈夫ですか？
- 
 介護支援専門員・ケアマネジャー 6/18 08:07
 北摂停電中です。
- 
渡邊 司 6/18 08:36
 看護師 (訪問看護ステーションエバーケア)
 電車がストップしています。箕面の被害状況わかりますか？
- 
松本 康代 6/18 08:50
 看護師 (訪問看護ステーションCIL豊中)
 倒壊は見ませんでした。
- 
千原 美也子 6/18 08:52
 看護師 (えがおりハビビ訪問看護ステーション)
 モノレールは止まっています。
- 
辻 毅嗣 6/18 08:59
 医師 (医療法人 正幸会 つじクリニック)
 電話が繋がらないです。

- 
井上 祥宏 6/18 11:03
 薬剤師 (カリス薬局)
 今日の午後からの豊中市社会福祉協議会評議委員会は中止の連絡がありました。
- 
渡邊 司 6/18 11:11
 看護師 (訪問看護ステーションエバーケア)
 宝塚から豊中までバイクで来ましたが各幹線道路大渋滞です。
- 
苺田 次郎 6/18 13:20
 施設職員 (一般社団法人豊中市医療保健センター診療所)
 介護老人保健施設かがやき苺田です。入所者さん無事でした。デイサービスは中止、エレベーター復旧の見通し立たず、強震の場合、業者さん以外復旧できないとのこと。豊中市医療保健センターも、箕面老健からも同じ報告がありました。エレベーター復旧が今後の課題の一つとなりそうです。
- 
苺田 次郎 6/18 17:32
 施設職員 (一般社団法人豊中市医療保健センター診療所)
 介護老人保健施設かがやき苺田です。エレベーター復旧いたしました。ご報告まで。
- 
渡邊 司 6/18 19:57
 看護師 (訪問看護ステーションエバーケア)
 今日は虹ねっとCOMの情報かなり有用な物でした!!
- 
辻 毅嗣 6/18 19:59
 医師 (医療法人 正幸会 つじクリニック)
 たいへん役に立つという実感が得られました。

台風21号の大阪直撃(2018年9月4日)

- 
長濱 あかし 9/4 14:18
 看護師 (刀根山訪問看護ステーション)
 豊中市停電ですか？情報あれば教えてください。
- 
辻 毅嗣 9/4 14:19
 医師 (医療法人 正幸会 つじクリニック)
 中桜塚停電です。
- 
飯尾 雅彦 9/4 14:20
 医師 (飯尾クリニック)
 庄内も停電中です。
- 
藤原 正史 9/4 14:20
 理学療法士 (医療法人優仁会かとう整形在宅クリニック)
 豊中市上野にあるクリニックは停電しています。すごい風です。
- 
渡邊 司 9/4 14:20
 看護師 (訪問看護ステーションエバーケア)
 伊丹も停電で電線切れるところ見ました
- 
渡邊 司 9/4 14:21
 看護師 (訪問看護ステーションエバーケア)
 今、台風の目に入ってるようです
- 
三木 正士 9/4 14:24
 医師 (三木外科・内科)
 服部も停電中 内環状線 ゴミ吹雪です。



豊中市医師会の災害時対応事例

■ 災害時に「虹ねっとcom」(MCS)で確認できたこと

- ・箕面市の電柱が倒れて通行できない道路がある(台風)
- ・エレベーターが止まっている建物がある(地震・台風)
- ・電動シャッターのパーキングから車が出せない(台風)
- ・小さいエリアごとの停電状況や復旧状況(地震・台風)

■ 2018年災害における在宅医療観点での気づきと学び

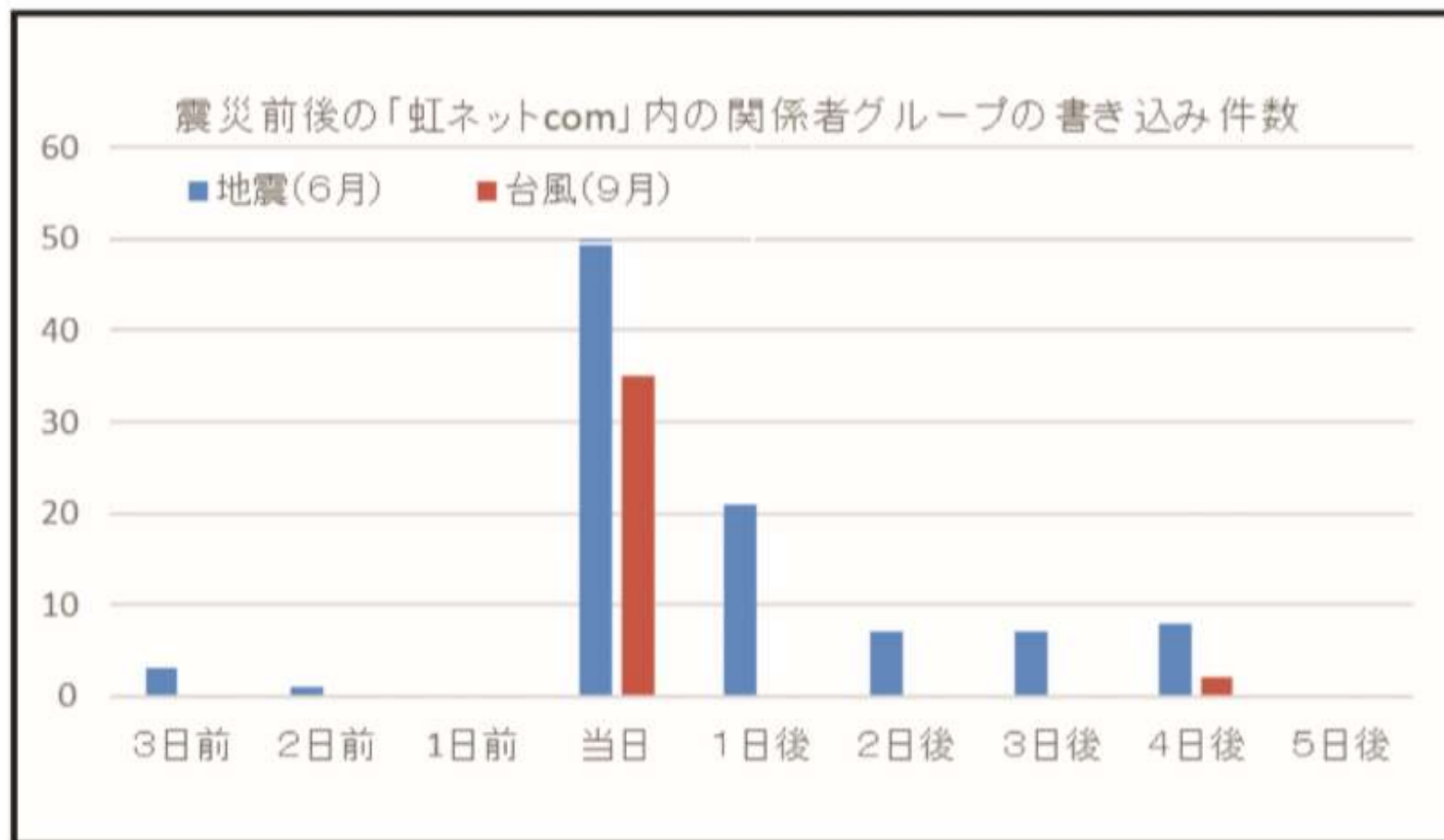
- ・停電の際、一般のマンションなどは復旧の優先度が低く、数日間エレベーターが動かないことがある。
在宅訪問に影響がある(台風)
- ・停電が長引くと冷蔵庫の温度が上がってワクチンが使えなくなる可能性がある(台風)
- ・在宅酸素療法の患者の連絡先を調べようとしたが、停電の場合、電子カルテが立ち上がらない(台風)
- ・MCSは問題なく災害時に情報共有ができた(地震・台風)
- ・MCSのスマートフォン用アプリの「プッシュ通知」がタイムリーな状況把握に役立った(地震・台風)

■ 今後の展開計画

大阪府北部に位置する豊能医療圏(豊中市・池田市・吹田市・箕面市・豊能町・能勢町と6つの行政区域)での連携ネットワークへ広げる



豊中市医師会の災害時対応事例



◀6月18日に大阪府北部エリアに最大震度6弱の大地震が発生。9月4日には大阪府都市部を大型台風21号が直撃した。災害時の必要なときだけ書き込みが増加していることが分かる



多職種ネットワーク利用による効果(まとめ)

効果1

- ・ 効率化(スピードアップ)
- ・ 利便性(情報共有、二度手間なし、ミス低減)
- ・ 情報の量、質の向上

「電話着履(日)が、55件から5件に減った」(医師)
「申し送りの時間や会議も短くなり残業が減った」(看護師)
「医師などとの連絡が容易になった、ヘルパーが入る予定なども簡単に共有できた」(ケアマネ)

効果2

医師、多職種にとって

- ・ 診療、介護の質の向上
- ・ チームが出来る(目標共有、役割、連携、モチベーション)

「変化のある患者に集中して適切な連携が取れる」(医師)
「患者とゆっくり向き合える時間が増えた」(看護師)
「意識が変わった、モチベーションが上がった」(多職種)

効果3

患者にとって

- ・ 納得、安心、モチベーション、気づき、行動変容
- ・ QOL、ACP、アウトカム向上

「情報の共有で人を支えることができる」(医師)
「訪問に来たスタッフがみな私の状況をわかってくれていて安心」(患者、家族)
「先生やスタッフへの信頼が増した」(患者、家族)



全国医療介護連携ネットワーク研究会